

## 1

## 2. バイオプラ・ウォール

表面層として、耐摩擦性を有するポリ乳酸系のバイオプラスチックフィルムを使用した壁紙で、中間層には立体感と柔軟性を生み出す軟質系の生分解性樹脂を使っています。表面にエンボスを施し、デジタル処理による三次元印刷と組み合わせて立体的なオリジナルデザインが可能で、安全性、施工性、耐久性及び防火性に優れた壁紙です。

バイオプラ・ウォールは、国土交通省から準不燃材料としての認定を受けているとともに、ホルムアルデヒド対策壁紙としても認定されております。また、全ての材料に生分解性素材を使っているため、コンポスト施設で処理すれば、自然に還することができます。

バイオプラカーペットと同様、耐火性の確保を法令上義務付けられる様々な建築物でその適用が見込まれます。

※ 写真及び構造図（別紙）：データソースはダイニック株のホームページ「プレスリリース」の  
本件から、ダウンロードできます。

## 3. 今後の展開について

- （１）大阪大学大学院工学研究科フロンティア研究棟１号館において今後２年間、バイオプラスチックを使った建築内装材を試験適用し、耐久性に関する総合評価を三者で行います。
- （２）大阪大学は、各適用場所における変質状態や一般的に使用されている既存品との比較評価を担当します。清水建設は施工箇所を継続的に観察するほか、本建築内装材のコンポスト処理に関する研究を担当。ダイニックは経年変化による物性評価や環境対応により優れた内装材に関する研究開発を担当します。
- （３）バイオプラスチック内装材を適用する場合の評価方法や最適な使用法、さらに材料設計から処理システムも含めたトータルな環境適合評価（LCA）を検討し、本格的な実用化に向けてさらに連携した活動を続ける予定です。
- （４）実用化に際しては、当初は展示会場やモデルルーム・ショールーム等の比較的短期使用の施設から適用し、徐々に多様な建築物への適用に拡げる計画です。

以 上

# バイオプラ ウォール(壁紙) / バイオプラ タイルカーペット

Biopla Wallpaper Biopla Tile Carpet

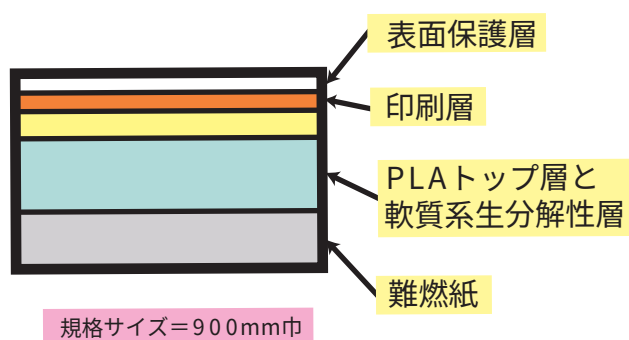
大阪大学・清水建設・ダイニツク共同開発



FRC研究棟 (2005.12 竣工)  
大阪大学大学院工学研究科  
フロンティア研究棟1号館



## バイオプラ ウォールの構成



## バイオプラ カーペットの構成

